

報告書〔7〕 分析結果及びフローシート

7 フェニトロチオン

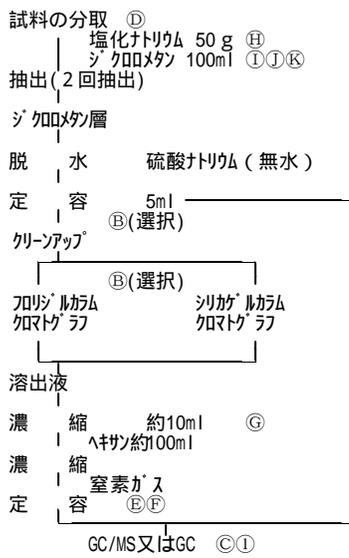
分析実施機関名	整理番号 *	*	*	国際的な認証の取得	1. ISO 9001 2. ISO 9002 3. ISO 9003 4. ISO 14001 5. なし
分析主担当者名	*	分析主担当者の経験年数	年	分析主担当者の実績(検体数)	検体

注1) 分析結果 (mg/l)	標準偏差 (mg/l)	測定回数 (回)

注1) 2回以上の測定を行った場合は、平均値を記入する。

分析開始日	月	日
分析終了日	月	日

< 溶媒抽出法 > ④



< 分析法等 >

前処理	1. 溶媒抽出 2. 固相抽出
クリーンアップ	⑤ 1. ポリジメチルシロキサンカラム 2. シリカゲルカラム 3. 実施しない
分析法	③ 1. GC/MS 2. GC/ECD 3. GC/FTD又はNPD 4. GC/FPD 5. その他()
試料量	① () ml
最終定容量	⑤ () ml
最終溶液	⑥ 1. ヘキサン 2. アセトン 3. その他()
濃縮方法	⑥ 1. KD 2. ローターエバポレーター 3. その他()

< 溶媒抽出条件 >

添加試薬	④ 1. NaCl 2. その他()
抽出溶媒の種類	① 1. ジクロロメタン 2. その他()
抽出回数	① () 回
溶媒量	⑤ () ml / 回

< 固相抽出条件 >

固相の種類	① 1. カラム型 2. ディスク型
充てん剤 種類 粒径 量	④ 1. ポリスリル系 2. ポリメタクリレート系 3. DOS系 4. その他() ⑤ () μm ⑥ () g
脱水方法	⑥ 1. 遠心分離 2. 吸引 3. その他()

< 分析条件 >

機器型式(GC)	メーカー() 型式()
機器型式(MS)	メーカー() 型式()
測定質量数 GC/MS	④ ()
装置型式	⑤ 1. 単集束 2. 二重集束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. その他
イオン検出法	⑥ 1. SIM法 2. マクロ検出法
カラム型式	メーカー() 型式()
カラム形状	① 内径() mm ② 長さ() m ③ 膜厚() μm
カラム昇温条件	初期温度 _____ 保持 _____ 分 / 分 _____ ~ _____ / 分 _____ ~ _____ / 分 最終温度 _____ 保持 _____ 分
キャリアガス条件	④ 1. N ₂ 2. He 3. その他 ⑤ () ml / 分
試料注入部温度	⑤ ()
試料注入方法	⑥ 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム
クワイアノ加熱の有無	⑥ 1. 使用した 2. 使用しない
(GCの場合) 検出器温度	⑤ ()
メタノールガス条件	⑥ 1. N ₂ 2. He 3. その他 ④ () ml / 分

< 検量線の作成等 >

定量方法	⑥ 1. 検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 内標準物質名() 及び⑤添加量() ng
試薬(標準原液)	⑥ 1. 購入 2. 自作 1. の場合メーカー()
検量線	⑤作成点数() 濃度範囲①() ~ ②() ng (注入量として) ③最高濃度のピーク高又は指示値()
試料溶液	①ピーク高又は指示値()
ブランク	④ピーク高又は指示値()

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点

試料溶液の調製について	-----
測定方法について	-----